



中央教育審議会 初等中等教育分科会
学校安全部会(第5回) 配布資料

参考資料 2

大阪教育大学における学校安全の取り組み ～教員養成・教職員研修・教材開発と セーフティプロモーションスクールについて～

大阪教育大学
学校危機メンタルサポートセンター
藤田大輔

I 教員養成

- ・教職基礎科目「学校安全」(必修)
- ・普通救命講習会

II 教職員研修

- ・学校安全主任講習会
- ・応急手当普及員講習会

III 安全教育教材の開発

- ・HATOプロジェクト
- ・e安全学習普及員養成セミナー

IV SPSの開発・普及

- ・セーフティプロモーションスクール(SPS)
- ・学校安全コーディネーター養成研修
- ・SPS推進員養成セミナー

〔 I 教員養成 〕

■ 講義

・ 教職基礎科目「学校安全」【必修】

2年生対象：前期・後期（月・火・木・金）開講

【火曜日開講分：京阪奈3教育大学 双方向授業】

H27年度（前・後期）の受講学生数 計 998名

大阪教育大学 891名

京都教育大学 68名

奈良教育大学 39名

教科書「教師のための学校安全」

講義の一部として、附属池田小学校の施設見学と
附属池田小学校事件被害者(遺族)の講話を含む

京阪奈3教育大学双方向授業「学校安全」



H28年度(前期)の受講学生数 計 545名

大阪教育大学 479名

京都教育大学 38名

奈良教育大学 28名

「学校安全」で扱う講義内容の例

附属池田小学校事件に関わる反省と教訓を基盤とした教職員の日常における「安全管理」として

- 訓練（不審者対応・地震避難・火災避難等）の実施計画（時期，回数）と内容〔映像視聴〕
- 危機発生時の初期対応（通報・搬送）
- 普通救命講習
- 校内組織活動と地域・家庭との連携
- 安全点検の情報共有
- 「学校事故対応に関する指針」の理解
- IDカード着用の意味と勤務時の服装 など

※4月1日から教員として勤務を開始するための「心構え・準備」の意義を理解し、実践する能力を育成する

〔 I 教員養成 〕

■ 授業における附属池田小学校事件の「語り継ぎ」

- ・ 「**学校安全の日**」事業として、大学の授業の中で事件の「語り継ぎ」を実施（平成27年6月5日）

柏原キャンパス：参加教員数**86名**・参加学生数**2,449名**、
天王寺キャンパス：参加教員数**12名**・参加学生数**287名**、
使用冊子「**附属池田小学校事件を語り伝えていくために**」

■ 全学的な非常時の危機対応訓練（**学生・教職員：合同**）

- ・ 地震発生を想定した非常時の危機対応訓練
柏原キャンパスにて実施（平成27年10月28日）
- ・ 不審者対応訓練
柏原キャンパスにて実施（平成27年11月11日）

〔 I 教員養成 〕

■ 普通救命講習会の実施

- ・平成27年度学生（柏原キャンパス）普通救命講習会
（前期2回・後期3回実施、参加学生数108名）
- ・平成25年度学生（天王寺キャンパス）普通救命講習会
（3回実施、参加学生数97名）

※第3期中期目標・中期計画の期間中に、
学生対象の普通救命講習の受講を「必修化」（予定）

- ・「応急手当普及員」講習会
対象：本学及び本学附属学校園の教職員
（平成27年度は新たに20名が普及員の資格を取得し、
総計134名の普及員を学内で確保）

学校安全主任講習会

〔Ⅱ 教職員研修〕

対象：本学附属学校園の**学校安全主任**および学校安全に関心を持つ全国の**教職員**

〔平成20年度以降、全国から延べ**572名**

(H27年度 48名, H28年度 52名)が受講〕

内容例(2日間の講義・演習+附属池田小学校見学)

- ・児童・生徒等への安全教育
- ・「学校安全の推進に関する計画」を踏まえた今後の学校安全施策
- ・学校における安全管理と組織活動
- ・学校防災の基礎：災害の基礎知識と公共情報の活用
- ・学校危機介入の実際～ストレスマネジメント～
- ・学校危機への対応(ワークショップ)

〔Ⅱ 教職員研修〕

■ 教職員研修等の開催（H27年度）

- ・全国の学校教職員を対象に第12回**教職員研修（中級）**を開催（**中級A**:参加者数13名、**中級B**:参加者数10名）
- ・平成27年度**学校安全コーディネーター**養成研修を開催（参加者数 38名）
- ・全国の学校教職員を対象に第14回センターフォーラム「**学校危機の諸相とその予防戦略を考える**」を開催（参加者数 130名）
- ・**e安全学習普及員**養成研修を開催（大阪:2回, 岡山:1回 認定者数 32名）
- ・**セーフティプロモーションスクール（SPS）推進員**養成セミナーを開催（大阪, 東京 認定者数 74名）

e安全学習普及員養成研修の実施

〔「e安全学習普及員(3年間)」:94名(H28.9末)〕



「e安全学習普及員」に登録された方には、
3年間の教材利用資格と教材デモDVDが無償で提供されます。

〔Ⅲ 安全教育教材の開発〕

文部科学省特別経費

「学校危機に対する予防プログラム」の開発事業
(H22年度～H27年度)

児童安全管理システムの開発

- ・小型発信機を用いた登下校安全管理システム
- ・ICチップ入り上靴を用いた校内位置情報管理システム
- ・熱感知センサーを使った校内検知システムの開発

学校安全情報プラットフォームの構築

- ・安全学習教材の収集と開発
- ・安全学習指導事例の検索データベースの提供
- ・「校内けが調べ」システムの開発

〔Ⅲ 安全教育教材の開発〕

H19年度～H23年度

独立行政法人 科学技術振興機構社会技術研究開発センター
(RISTEX)委託事業

犯罪からの子どもの安全を目指したe-learningシステムの開発

H25年度～H29年度

大学間連携による教員養成の高度化支援システムの構築
〔教員養成ルネッサンス・HATOプロジェクト〕

先導的実践プログラム部門:先導的教員養成への取組

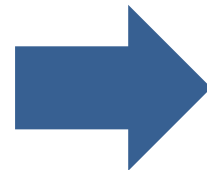
安全・防災教育のプログラム開発プロジェクト

e安全学習システムの特徴

犯罪からの子どもの安全を目指したe-learningシステムの開発

保護者と地域の参加が可能な教材開発

- ・ 学校と家庭間の安全学習の内容に関する認識の共有
- ・ 保護者の介入(コメント入力)による子どもたちの自尊感情・自己効力感の向上

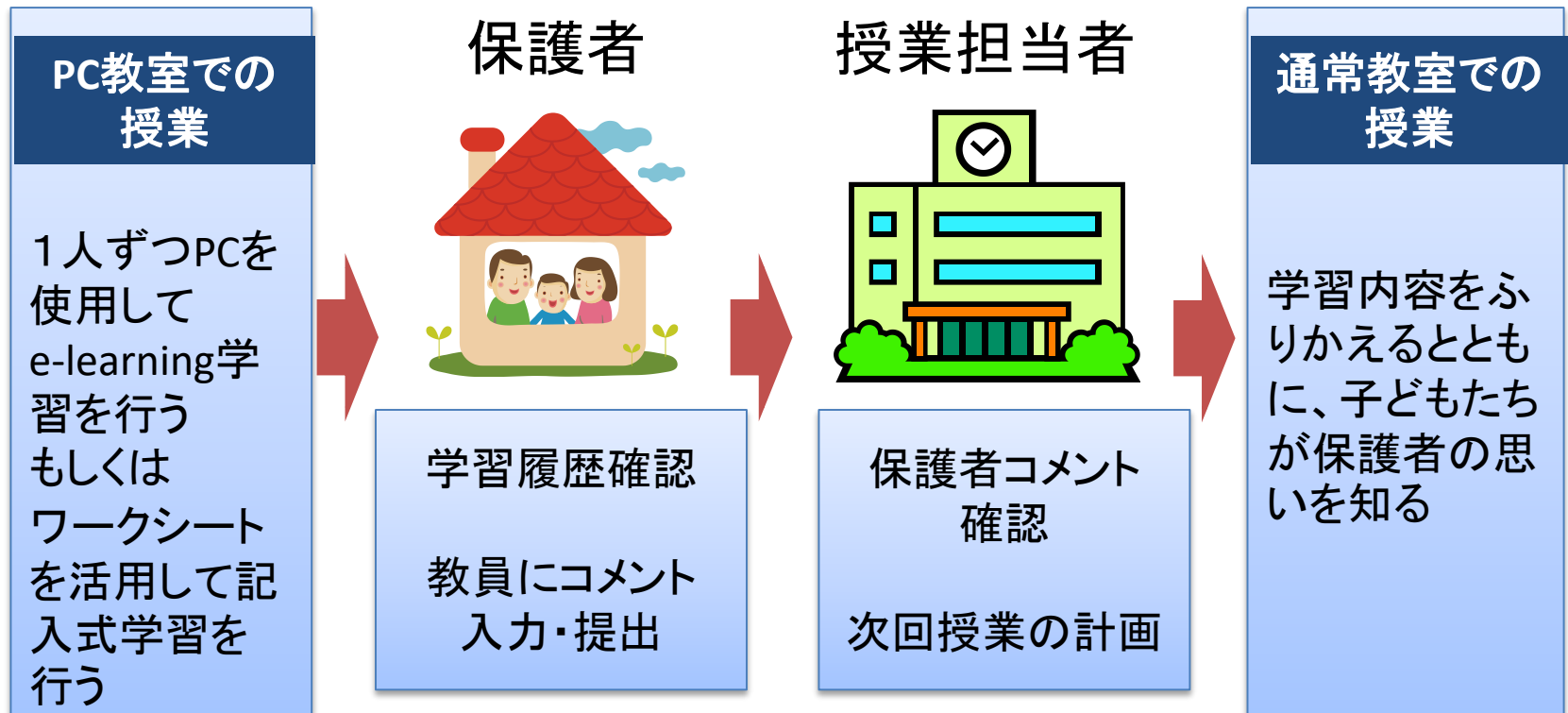


* 保護者のコメントの確認(教員画面)

実証実験の流れ(45分授業 × 2回)

1回目
e-learning学習

2回目
ふりかえり学習



担当教員へ学習指導案付き教材として提供

〔Ⅲ 安全教育教材の開発〕

HATOプロジェクト 「安全・防災教育のプログラム開発」

事業構成員

藤田 大輔〔代表〕

(大阪教育大学: **O** 教授)

佐々木 貴子

(北海道教育大学: **H** 教授)

菅沼 教生

(愛知教育大学: **A** 研究・附属学校担当理事)

大羽 佳洋

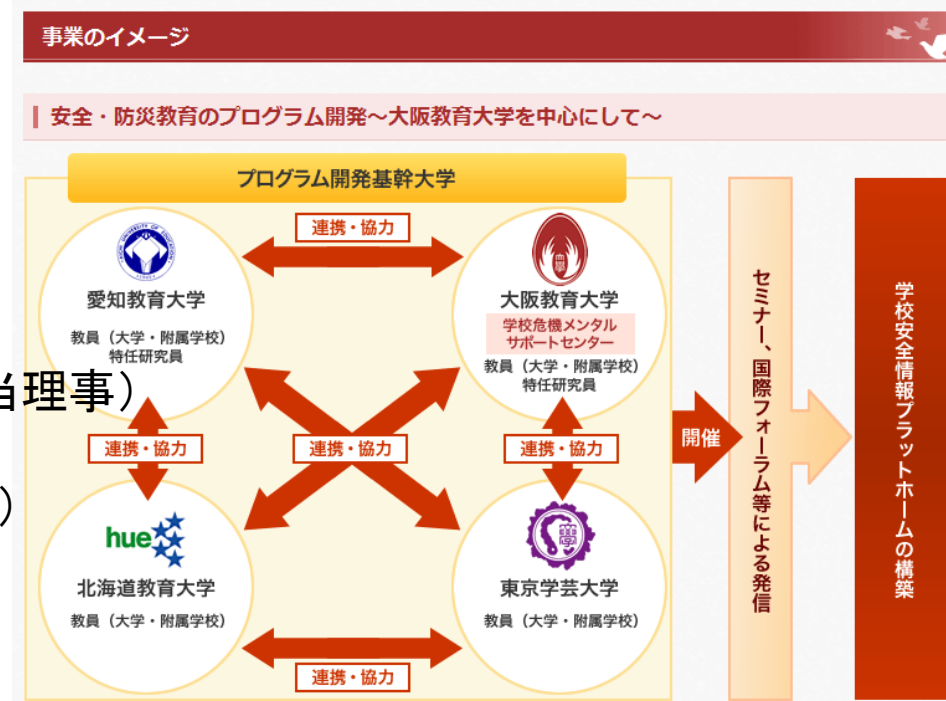
(愛知教育大学 附属岡崎小学校 教諭)

渡邊 正樹

(東京学芸大学: **T** 教授)

林 尚示

(東京学芸大学 准教授)



(HATOプロジェクトホームページより)

開発中の教材 「犯罪からの安全」「災害からの安全」「外傷からの安全」

開発予定の教材 「交通事故からの安全」 (H29年度以降)

e安全学習実施協力校 (RISTEX+HATO)

〔平成28年3月末現在〕

- 十和田市立三本木小学校(青森県)
- 台東区立金竜小学校(東京都)
- 出雲市立遥堪小学校(島根県)
- 広島市立矢野西小学校(広島県)
- いの町立伊野南小学校(高知県)
- 天草市立佐伊津小学校(熊本県)
- 大阪教育大学附属池田小学校
- 大阪教育大学附属天王寺小学校
- 東京学芸大学附属竹早小学校
- 愛知教育大学附属岡崎小学校
- 岡山県(91校), 大阪府(3校), 高知県(3校), 京都府(1校)



〔Ⅳ SPSの開発・普及〕

大阪教育大学では、平成28年度機能強化経費により「セーフティプロモーションスクール」の社会実装支援体性の構築プロジェクトを展開しています。

「セーフティプロモーションスクール(SPS)」とは、「国際ショナルセーフスクール(ISS)」の考え方を参考に、平成25年6月に閣議決定された教育振興基本計画に示された**自助・共助・公助**の理念の下に、

教職員, 児童・生徒, PTA, 地域が参加する
共感と協働に基づく安全教育・安全管理・安全連携
を推進する新たな「学校安全」の取り組みです。

セーフティプロモーションスクールの7つの指標

指標1 (組織)

学校内に、「**学校安全コーディネーター**」等を中心とする学校安全推進のための「**学校安全委員会**」が**設置**されている。

指標2 (方略)

学校において、「生活安全」・「災害安全」・「交通安全」の分野ごとに、セーフティプロモーションの考え方に基づいた「**中期目標・中期計画**(3年間程度)」が**設定**されている。

指標3 (計画)

学校安全委員会において、「中期目標・中期計画」に基づいた学校独自の学校安全推進のための「**年間計画**」が、「安全教育」・「安全管理」・「安全連携」の領域ごとに**策定**されている。

指標4 (実践)

「年間計画」に基づいて、学校安全委員会を中心に、学校関係者が参加して、学校安全推進のための活動が年間を通じて**実践**されている。

指標5 (評価)

学校安全委員会において、実践された学校安全推進に関わる活動の成果が定期的に報告され、それぞれ**分析に基づく明確な根拠**をもとに学校安全推進活動に対する**評価**が行われている。

指標6 (改善)

学校安全委員会における次年度の「年間計画」の策定にあたって、それまでの活動成果の分析と評価を参考に、当該校における学校安全に関わる**実践課題の明確化**と「年間計画」の**改善**が取り組まれている。

指標7 (共有)

学校安全推進に関わる活動の成果が、当該の学校関係者や地域関係者に**広報・共有**されるとともに、「**協働**」の理念に基づいて、国内外の学校への**積極的な活動成果の発信・共有**と新たな情報の収集が**実践**されている。

「学校安全委員会」の例

チーム学校
(SPS推進員)

(救命救急,
防災情報)

(学校医,
学校歯科医,
学校薬剤師)

消 防

学校三師

警 察

(防犯対策)

保健所

(感染症情報)

行 政

(教育委員会
スクールカウンセラー
スクールソーシャルワーカー)

学校安全
コーディネーター
(学校安全主任等)

福 祉

(児童福祉)

自治会

家 庭

(PTA活動)

(子ども110番の家, スクールガードリーダー, 交通安全指導員)

平成27年3月6日に、大阪教育大学附属池田小学校（大阪府）、
大阪教育大学附属池田中学校（大阪府）、
台東区立金竜小学校（東京都）を、
平成28年3月7日に、京都市立養徳小学校（京都府）を
セーフティプロモーションスクール (SPS) に認定しました。

現在、宿毛市立山奈小学校(高知県)、
大阪市立堀江小学校・同堀江幼稚園(大阪府)、
泉南市立西信達小学校(大阪府)、
岐阜市立三里小学校(岐阜県)、
石巻市立鮎川小学校(宮城県)、
大阪市立瓜破中学校(大阪府)、
大阪市立新高小学校(大阪府)、
深圳市蛇口育才教育集团第四小学(中華人民共和国)、
上海市松江区中山小学(中華人民共和国)、
上海市閔行区紀王学校(中華人民共和国)で

新たに、**セーフティプロモーションスクール**の認証への取り組みが
正式に始まっています。さらに、大阪府、宮城県、高知県の他の学校
でも認証活動開始のための検討が始まっています。

文部科学省初等中等教育局健康教育・食育科の 平成28年度事業の

「防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業」
の「学校の安全管理体制の充実」の中で、
「セーフティプロモーションスクール等の先進事例を参考
に地域の学校安全関係者（有資格者等）、関係機関及び
団体との連携・協力」
という事業が設定されています。

また平成29年度概算要求説明資料でも引き続き、「防
災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業」の中
で、セーフティプロモーションスクールに関わる事業が位
置づけられています。

平成28年度中に大阪教育大学が主催する 教職員研修の開催予定(12月以降)

1. e安全学習研修会(e安全学習普及員養成セミナー)
会場:東京学芸大学附属竹早小学校
日程:平成28年12月15日(木) 13:00~16:45
2. 学校安全コーディネーター養成研修
会場:大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター
日程:平成28年12月26日(月) 13:00~17:00
3. セーフティプロモーションスクール推進員養成セミナー
会場:大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター
日程:平成29年3月3日(金) 09:30~12:30
4. 第15回学校危機メンタルサポートセンターフォーラム
~安全・防災教育教材の開発とその実践成果(仮題)~
会場:大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター
日程:平成29年3月3日(金) 13:30~17:00